

IV

まとめ

- 1 研究の成果
- 2 今後の課題

研究のまとめ

1 研究協力校における実践から

(1) 校内研修プログラムの活用による指導の改善

各研究協力校では、児童生徒のコミュニケーション能力の課題や教職員の実態に応じて、校内研修プログラムを活用した校内研修を実施しました。こうした研修を通じて、それぞれのプログラムで示された手法の有用性が理解され、様々な教育活動での実践を通して、指導の改善につながったと評価されました。

児童生徒が自分の考えをうまく表現できない状況を改善したいと考えた学校では…

校内研修プログラム「アサーショントレーニング」を活用した校内研修を実施しました。

研修により、アサーショントレーニングを通して「前向きに考える力」、「自分自身や他者を理解する力」、「他者に働きかける力」を育成できることが理解され、教科の指導だけでなく、特別活動や総合的な学習の時間の指導などで活用されました。

教育相談の手法について学んだ経験のある教職員が少ない学校では…

校内研修プログラム「構成的グループエンカウンター」を活用した校内研修を実施しました。

研修により、構成的グループエンカウンターを通して「自分の役割を果たす力」や「前向きに考える力」を育成できることが理解され、特別活動や総合的な学習の時間に導入実施されました。

(2) 学習プログラムの実践による児童生徒の変容の把握

本研究におけるコミュニケーション能力を構成する5つの力と、子ども理解支援ツール「ほっと」におけるコミュニケーション能力の測定の指標となる13要素との関連を、次のように整理しました。また併せて、学習プログラムの実践の前後に「ほっと」を用いたことにより、取り組んだ学習プログラムのねらいに応じた児童生徒のコミュニケーション能力の変容を明確に捉えることができました。

■ コミュニケーション能力を構成する5つの力と「ほっと」との関連 ■

「ほっと」の13要素	本研究における、コミュニケーション能力を構成する5つの力				
	自分の役割を果たす力	前向きに考える力	自分自身や他者を理解する力	他者に働きかける力	話す力・聞く力
挨拶・感謝				○	○
発言や説明				○	○
仲間づくり				○	
思いやり				○	○
拒否		○			○
緊張		○	○	○	
称賛			○		
ルールやモラル	○	○			
助言や注意				○	
自律		○	○		
学業	○			○	
リーダーシップ	○			○	○
相談			○		

2 研究の成果

(1) 発達の段階に応じて身に付けさせたい児童生徒のコミュニケーション能力の整理

児童生徒に必要なコミュニケーションに関わる諸能力を、「自分の役割を果たす力」、「前向きに考える力」、「自分自身や他者を理解する力」、「他者に働きかける力」、「話す力・聞く力」の5つに分類し、それらを発達の段階に応じて具体的に姿として整理しました。この整理により、発達の段階ごとの指導の方向性を明らかにすることができました。

(2) コミュニケーション能力の育成に資する手法を理解する校内研修プログラムの作成

コミュニケーション能力の育成に資する教育相談の手法を教師が理解できるようにする校内研修プログラムを作成しました。

研究協力校では、育成したいコミュニケーション能力に応じた校内研修プログラムの活用により、教師が児童生徒への関わりに教育相談の手法を活用し、コミュニケーション能力を育成することの有用性が確認されました。

(3) 児童生徒のコミュニケーション能力を育成する学習プログラムの作成

「自分の役割を果たす力」、「前向きに考える力」、「自分自身や他者を理解する力」、「他者に働きかける力」、「話す力・聞く力」を、1単位時間の授業において指導する際のポイントを示した学習プログラムを作成し、その効果を検証した結果、学習プログラムの活用により、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を確認することができました。

さらに、学習プログラムの活用・分析を通して、コミュニケーション能力を育成する指導で大切にすべき事項を、次のようにまとめることができました。

■コミュニケーション能力を育成する指導のポイント■

自分の役割を果たす力	前向きに考える力	自分自身や他者を理解する力	他者に働きかける力	話す力・聞く力
<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や今できていることに自信をもたせる。 互いの役割について他の児童生徒と意見を交流させる。 日常生活を見直し、自分の役割を確認するよう促す。 社会の一員として適切に行動する実践意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 物事をやり通した経験や、そのときの達成感を想起させる。 間違いを成功につなげていくことを経験させる。 人としての望ましい在り方について考える場面を設ける。 目標をもたせ、その実現に向けた生き方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所を自覚させ、それを発揮する機会を与える。 他者のよさを見付けたり、認め合ったりする場面を設ける。 他者のよさを自分に取り入れることを経験させる。 他者の価値観を理解することの大切について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と協力して一つのことに取り組む活動を設ける。 目的意識をもって他者と考えを交流する場面を設ける。 自分の考えを伝えるための表現方法を身に付けさせる。 相手と気持ちよくやり取りする方法について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じた言語活動を工夫し、活動への意欲を高める。 言語活動の視点を明確に示し、ねらいに沿って活動させる。 話し方、聞き方、話合いの進め方などを身に付けさせる。 言語活動によって自分が身に付けた力を自覚させる。
↓	↓	↓	↓	↓
<p>自己の成長への気付きを促し、人の役に立つ喜びを味わうようにする。</p>	<p>自己の生き方を考える機会を設け、よりよく生きようとする意欲を喚起する。</p>	<p>互いの個性や能力、人格を尊重し合って生きることの大切さを理解させる。</p>	<p>他者と関わり合い、協力することの意義と大切さを実感させる。</p>	<p>言語活動を充実させ、言語能力を育てる。</p>

3 今後の課題

本研究では、1単位時間の学習プログラムを作成しましたが、研究協力校からは、「年間を見通して計画的に指導することにより、一層児童生徒のコミュニケーション能力の育成が図られるのではないか」との意見がありました。

また、学校で学んだ多様なコミュニケーションの方法や考え方は、生活の中の様々な場面で活用することを通して身に付いていくものであることから、学校が家庭、地域と連携して、児童生徒のコミュニケーション能力を育成する取組を推進することが重要です。

今後は、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に関わる学校全体の指導計画の作成を視野に入れて研究を進める必要があります。

〈参考文献等〉

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）
中央教育審議会 平成20年
- 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申） 中央教育審議会 平成23年
- 小学校学習指導要領 文部科学省 平成20年3月告示
- 中学校学習指導要領 文部科学省 平成20年3月告示
- 高等学校学習指導要領 文部科学省 平成21年3月告示
- 生徒指導提要 文部科学省 平成22年
- 言語活動の充実に関する指導事例集 文部科学省 平成23年
- 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 国立教育政策研究所 平成23年、平成24年
- 「ほっと」を使おう！ 北海道教育委員会・北海道医療大学 平成24年
- ピア・サポートではじめる学校づくり（小学校編） 滝 充 金子書房 平成21年
- すぐ始められるピア・サポート指導案&シート集 森川澄男 菱田準子 ほんの森出版 平成14年
- 構成的グループエンカウンター事典 國分康孝 國分久子 図書文化 平成23年
- 改訂版 アサーション・トレーニング さわやかな自己表現 平木典子 日本・精神技術研究所 平成21年
- 教師のためのアサーション 園田雅代 中釜洋子 沢崎俊之 金子書房 平成21年
- 事例に学ぶ教育相談 北海道学校教育心理研究会 ぎょうせい 平成13年
- 相談活動に生かせる15の心理技法 月刊学校教育相談編集部 ほんの森出版 平成16年

【研究協力校】

当別町立西当別小学校
当別町立当別中学校
当別町立西当別中学校
北海道札幌月寒高等学校〈定時制〉

【作成者】

北海道立教育研究所研究・相談部	部長	小山茂樹		
	研究主幹	坪川泰嗣		
	主査	廣瀬一仁		
	研究研修主事	島瀬史子	高田安利	
		大城郁子	福本正規	
		古御堂徹	土屋靖雅	
		竹見純		
企画・研修部	研究研修主事	赤塚恒太	木野下尚大	
附属理科教育センター	研究研修主事	横山光		

【平成23年度作成者（転出）】

前川洋（北海道教育庁高校教育課長）
渡部道博（北海道留辺蘂高等学校長）
佐々井利兼（岩見沢市立美流渡中学校長）
宮本幸紀（北海道教育庁石狩教育局教育支援課高等学校教育指導班指導主事）
赤川欣胤（北海道教育庁胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事）
田中幹也（北海道登別明日中等教育学校教頭）

平成23・24年度プロジェクト研究

児童生徒のコミュニケーション能力の育成に関する研究研究報告書

編集・発行 北海道立教育研究所

代表者 酒向憲司

〒069-0834 北海道江別市文京台東町42番地

電話 011-386-4511

発行日 平成25年3月



心の教育推進キャンペーン